

# 育英予備校金沢 2011 合格体験記（今年度生）

☆ 現役生・講習生を一切含んでいません。高卒本科生のみです。

高松 優斗くん（金大附属高校卒）

金沢大学 医学類 進学

「落ちる気がしなかった」

昨年は慣れない寮生活や、センター本番の体調不良もあり金沢大学医学類に不合格でした。そして二浪目は再び金沢大学を第一志望にして育英予備校に入りました。育英では日々の授業の予習復習や添削課題で、自分の好きな勉強はできませんでしたが、しかし一年間という時間を考えれば、やるべきことを教えてくれた育英の方針がよかったんだと思います。一浪目は何をすればいいかわからなかったのが、今年は育英が示してくれる道を信じてやってきました。思った以上に成績が伸びました。合格はもちろんのこと、より上位で合格したいという気持ちがあったので、大阪大学のボーダーを意識した勉強をしていました。そのせいもあって、センターも自信をもって臨めました。センターリサーチも当然 A 判定であり、また二次試験も、終了した瞬間小さくガッツポーズが出るくらいの満足な出来でした。そして万全の自信をもって合格できました。パーフェクトとっていいと思います。

菅谷内 梓さん（金大附属高校卒）

大阪大学 法学部 進学

中央大学 法学部 合格

「去年の私とは違う！」

現役のころの私は、受験の厳しさも「合格」の二文字の重みも全く理解していませんでした。明確な目標もなく、ただ焦るばかり。いろんな参考書に手をつけては、模試で点が伸びないとその参考書のせいにして「合わないから」と途中でやめて次の参考書に移るということをやっていました。最後に残ったのは後悔ばかり。しかし育英に入って基礎の大切さを学びました。最初は応用をしなくて大丈夫なのかと悩みましたが、授業を受けていくうちに自分の基礎力のなさを実感しました。もし他の予備校に通っていたら周りのペースにのまれて、自分がまずしなければならぬことに気づけないままだったと思います。それでも葛藤や焦り、プレッシャーはありましたが、先生方や家族の支えで自分を見失わずに勉強に励むことができました。これも家から通える予備校ならではのメリットかなと思います。冷静に自分を見つめて勉強する、決断すべき時に決断する。それができる予備校です。

水島 穂波さん（金大附属高校卒）

金沢大学 医学類 進学

明治大学 政治経済学部 経済学科 合格

同志社大学 経済学部 経済学科 合格

「夢をこの手に！」

私は、医師になるという夢がどうしても諦めきれず、浪人を決意しました。努力してきて合格できたいま、振り返ると、育英で過ごしたこの一年は本当に充実したものでした。予備校の相談をした時に勧められたように、育英は学力の土台作りをしっかりとやります。私は現役時、学力に基礎がなく不合格になったので、そのシステムが合っていたのだと思います。通いやすいことや、同じ学校の先輩の合格実績も後押しとなりました。授業だけでなく、夜遅くまで先生に質問できたり、自分だけでは絶対に気づかない点を添削課題で細かく指導していただいたことが、最終的に点数に直結したのでしょうか。もし違う予備校に行っていたら、合格はおろか授業についていけなかったかもしれません。丁寧に根気強く私に教えてくださった先生たちのおかげで、今の自分がいます。ここに来て本当に良かったです。ありがとうございました。

**藤木 亜衣さん（金大附属高校卒）**

**金沢大学 医学類 進学**

### 「ひとりひとりを見てくれる」

私は、浪人生活を育英で送ることに決めました。平日は夜9時まで予備校に残って自習しました。先生たちも夜遅くまで質問にこたえてくれ疑問点がすぐに解決できたのがとてもよかったです。夏以降は数学や英語で授業以外の添削課題が出されることも多く、提出に追われることもありましたが、そのおかげで十分な量の演習を毎日こなすことができたと思います。自分の勉強法だけを大事にするやり方もあるでしょうが、入試というものは自分以外の人が問題を出し答案を採点するのですから、先生からの添削課題に挑戦する訓練も必要だと思います。それが入試突破へのカギといてもいいでしょう。実は私はセンター前日に体調を崩し、追試験を受験することになりました。それまでの一週間は、専用の特別プリントを作ってもらいなど、丁寧な対応をしていただき、そのおかげで点数も大崩れせず第一志望に出願できました。不測の事態にも対応してくれた先生方や応援してくれた友人に本当に感謝しています。学力向上には自分自身の努力が最も重要ですが、センター試験での高得点や、二次対策でも十分やりきれたのは育英に来たからだだと思います。

**紺 有加里さん（金沢泉丘高校卒）**

**金沢大学 医学類 進学**

### 「すべてやり直した一年間」

私は一度大学を卒業してからの再受験だったため、久しぶりの受験勉強ということで、どの科目もほとんどゼロからのスタートでした。しかし、先生方にプランを立ててもらい、あせらず基礎から取り組んだことで、しっかりと他の受験生と競える力が身についたと感じました。先のことよりもまず目の前にある課題を着実に自分の力にしていくことで、どれだけ高い目標でも、そこまで自分を高めていけるのだと思いました。二次試験の対策としては、自分の実力と過去問、またその年の合格点を考察して自分が解かなければならない問題をしっかりと見極め、確実に点数に結び付けるように練習しました。一時の成績に一喜一憂せず、そのつど自分の実力の伸びを確かめながら次につなげていくことが大切だと思います。

**桃井 午左衛門くん（金沢高校卒）**

**新潟大学 医学部 医学科 進学**

### 「やれるだけやった！」

医学に興味があった私は、もう一度受験をしたいと思ってここに来ました。今これを読んで予備校を考えている人、もしかしたら「予備校は勉強さえできればどこでも同じ」と思っているかもしれない。実は、そうではないのです。私の経験からいうと、合う予備校をとことん探すべきです。育英予備校は自分に合っていたと思います。育英の授業は基礎中の基礎から教えてもらえるので、抜けがなく自分にとってかなり助かるものでした。授業の予習・復習、そして添削問題をしっかりとしていればたいいのことが理解できます。それがあから自習時間をより有効に使えるのです。この一年、私はやることはすべてやったので、受験後はまさに「人事を尽くして天命を待つ」の気持でいました。自分の努力を信じて「動かざること山のごとし」結果を出せて本当によかったです。

**上野 睦美さん（金沢桜丘高校卒）**

**金沢大学 医薬保健学域 薬・創薬科学類 進学**

## 「揺るぎない基礎があったから！」

現役時代、まあ受かるだろうという軽い気持で受験してしまい、結果は不合格となって浪人が決まりました。自分の落ちた理由を分ろうとしないままの予備校生活スタートでしたが、講義を受けていくうちに自分の弱点、つまり基礎がほとんどできていなくて、暗記に頼っているところがたくさんあったことに気づかされました。育英予備校では基礎を徹底的に強化してくれます。英語も自分では得意だと思っていたけど、添削課題ではびっしり修正点を書き込まれて返ってきました。過去問ばかりやっていて「受験生気分」になっていた私は、基礎を充実させて答えまでの過程を重視する勉強法に切り替えました。分からない問題があった時は答えを見ずに、教科書や参考書などを使って自分で答えを見つけていく訓練をしました。その方が、より記憶に残りやすいと思います。予備校で使うテキストや資料集、プリントの内容・構成なども、生徒目線と考えられていて大変使いやすかったです。

### 濱田 涼くん（金沢錦丘高校卒）

横浜国立大学 経済学部 国際経済学科 進学  
立命館大学 経済学部 国際経済学科 合格  
龍谷大学 経済学部 経済学科 合格

## 「現役時代は夢だった大学に合格」

浪人が決定した時、この一年はつらく孤独だと想像していたので勉強を続けられるかどうか不安でいっぱいでした。模試の結果が振るわない時や勉強が思うように進まない時は心が折れそうになりました。しかし、第一志望の大学生生活を想像してモチベーションを維持しました。それから生物の「遺伝」や「植物の仕組み」、数学の単元別パターンといった、自分に足りないものをひとつひとつ具体的に書き出して番号をつけ、やれるものからやりました。なんといっても一年を通じて数学の課題添削をしてもらったことが大きかったです。授業を受けるだけでなく、一対一で自分のミスや考え方を細かく指導してもらい、本番の入試ではそれが自信になりました。熱心な指導に感謝です！再挑戦する皆さんは、浪人することは人間としてレベルアップできるチャンスと考え、がんばってください。

### 廣谷 真くん（金沢西高校卒）

横浜国立大学 理工学部 機械工学科 進学  
同志社大学 理工学部 機械工学科 合格  
立命館大学 工学部 機械工学科 合格  
関西大学 システム理工学部 機械工学科 合格  
芝浦工業大学 工学部 機械工学科 合格

## 「あきらめない心が力！」

センター試験二日目の数学、残り5分。もう一度、自信のなかった数列の問題を解きなおした。昨年の自分は、問題をひと通り解いた後は時間が来るまでただマークシートを見ていただけだった。さっさとあきらめてしまい、粘ることをしなかった。僕の第一志望は横浜国立大学。センター重視型なので、今年は最後まで粘って食らいついた。その分の10点は、たった10点と笑われるだろうが僕にとっては本当に大きかった。現役時は私立大学に合格していて、浪人するか本当にぎりぎりまで迷っていた。それでも「自分はこんなもんじゃない」と奮起して、両親とは「A判定の学校しか受けない」という条件で、浪人を決意した。今年のセンターリサーチで横浜国立大学はA判定。数学を徹底してやりこみ、前期合格できた。小規模な予備校だが、だからこそ授業や添削指導、進路指導がとても丁寧だった。ということは、生徒ひとりひとりに目が行き届くので生徒も気を抜けない。だから力がつく。本当に育英にしてよかった。

### 小倉 沙姫さん（金沢高校卒）

奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 進学  
金沢工業大学 環境・建築学部 建築学科 合格

### 「浪人ってわるくない」

私は現役時代、今とは少し違う進路を選択していた。学科の配点も科目も少ない受験だったので、選択しなかった社会科や数学ⅡBなどはほとんどわからない状態だった。やりたいことを突き詰めて考えて進路を変更し、その結果科目が増えて不安だったが、予備校の授業は楽しくわかりやすかった。数学ⅡBも添削指導をしっかりとってもらえて理解できた。そのおかげで、初めて第一志望の学校に合格することができた。正直、現役時代は浪人に対して、あまり良いイメージをもっていなかったけれど、一生のうちのたった一年を費やすだけで自分が行きたい本当の道を見つけることも可能になる。両親も「長い人生のうちの一年、がんばってみたら」と言ってくれた。実践して本当によかった。

#### 大澤 めぐみさん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 医薬保健学域 保健学類看護学 進学  
金沢医療センター附属金沢看護学校 合格

### 「基本が大切」

私は現役の時、基本的な知識の大切さを理解しておらず、英語では、単語や文法も覚えていないのに過去問題を繰り返し解いてばかりでした。それは英語に限らず、どの教科でも同じような状態でした。しかし、この予備校で基本的なことをしっかり学ぶことが何よりも重要だとわかりました。各教科での小テストや授業で基本知識を何度も確認し、身につけていった結果、夏の模試では急激に点数が上昇したのです。センター直前も、予備校の授業や課題の復習を基本問題を繰り返しました。その結果、現役時代マーク模試で500点台をとったことがなかった私が、センター試験本番で600点後半をとることができたのです。予備校の授業や課題の復習と基本知識の確認を繰り返してください。基本がなければどんな問題も解けず、点数は上がらない。私はこの予備校でそれを学びました。

#### 山村 拓くん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 法学類 進学

### 「苦難の一年」

浪人は思っていた通り大変だった。現役の頃の勉強法を変えて基礎を徹底的に固めていたから点数的には安定していたので、あとは心の強さが重要だった。センター前や前期試験前の緊張は想像を絶する苦しみで、現役の時よりしんどかった。だけど合格して全てが報われた気がした。自分を信じてやってきてよかったと思う。

#### 江間 友美さん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 地域創造学類 進学  
京都女子大学 現代社会学部 現代社会学科 合格

### 「浪人生活をふりかえって」

浪人なんてありえないと思っていた私が浪人して一年になります。最初はとても嫌だったけど、志望校に合格できた今はこの道を選んで良かったです。高校時代はとにかく数をこなすだけの勉強で、全く実力がありませんでした。育英では入試に直結する基礎固めを大切にされていて、私は今までどれだけ基礎をないがしろにしてきたか、授業を受けるたびに痛感しました。成績が思うように伸びずつらい時もあったけどここまで頑張れたのは添削課題を細かく見てくれたり授業担当じゃないのに励ましてくれたりした先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

### 荒川 輝くん（金沢桜丘高校卒）

上越教育大学 学校教育学部 初等教育学科 進学

京都産業大学 経営学部 経営学科 合格

「合格して反省」

今ふり返ると、もっとやれたなと思う。高校時代ろくに勉強していなかったので、一年間軽くやればいだろうと思ってた。実際、最初の模試では良い点をとったから浮かれていた。だけどセンターまでは伸び悩み苦しんだ。今思うと最初から計画を立てて全力でやればよかったと思う。難しい問題にももっと意欲的にとりくんだり、単語の小テストの見直しもやればよかった。もっと自分にストイックにやればまだまだ上を目指せたと思う。自分は100点ちょいしか上がらなかったけど、200点アップ目指して頑張ってください。

### 高橋 匠くん（金沢桜丘高校卒）

明治大学 商学部 商学科 進学

金沢大学 人間社会学域 経済学類 合格

同志社大学 商学部 商学科 合格

法政大学 経営学部 経営学科 合格

関西学院大学 商学部 商学科 合格

関西大学 商学部 商学科 合格

関西大学 経済学部 経済学科 合格

「敢えて自分に試練を課す！」

「浪人」をマイナスにとらえている人は多いと思います。僕も最初はそうでした。でも基礎からやり直し地道に勉強を続け徐々に模試で結果が出てくるにつれて、その考え方は変わりました。浪人生活は勉強漬けなので、決して楽なものではありません。模試の結果によってはやる気がなくなる時もあると思います。しかしそういう時こそ目標に向かって根気強く努力を続けることが大切だと思います。僕は予備校を選ぶ時、部活の友達に他の予備校に行こうと誘われましたが、敢えて友達と別れて一人になって集中しようと考えました。生徒が多すぎる予備校だと一人にかかる時間が少ないと思いました。さらに苦手意識のあった数学も、最初は私立専願にして捨てるかと思っていましたが、数学の先生と相談してここも敢えて国立系にし自分を追い詰めました。結果としては昨年受験し落ちた国立大学・私立大学すべてに合格できたので、それで満足しています。実際の勉強とはいえば、本当に育英予備校でもらった教材だけを忠実にやっていました。過去問を解いていても必ず原点の育英教材に戻って復習し納得しました。でもそれが力になったと思います。これから浪人する皆さんも、浪人がプラスに変えられるようにがんばってください。

### 古川 莉帆さん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 人文学類 進学

「私は変わった」

はっきりいって私は大学受験をなめていました。去年はセンター試験の自己採点で第一志望の大学のボーダーに全然足りなくて、受験校を変えて受験したのにそれも落ちてしまいました。そこでやっと自分の甘さに気がつけました。高校の先生の勧めもあり育英を選んだのですが、自分に甘い私にはとてもピッタリでした。小テストが毎週ありサボらず英単語や古文単語を勉強できました。現役時なら放置していたあやふやなところも、先生に質問すると資料や例文をたくさん出してくれ、聞いたこと+周辺の知識まで教えてくれました。それがおもしろくて勉強をつづけることができました。センター試験で金沢大学 A 判定が出た時もすぐ自分に自信が持てました。堂々合格することができて、本当に感謝しています。

### 小谷 剛弘くん (金沢桜丘高校卒)

上越教育大学 教育学部 進学  
京都産業大学 経営学部 合格

#### 「国立大学合格☆」

最初に浪人が決まった時、目の前が真っ暗になって食事ものを通らなかった。正直、現役の時も勉強が辛くて、またこの悪夢が始まるのかという予感があったからだ。しかし、この予備校に来てからそれは変わった。校舎の雰囲気明るく、先生方も優しい。また最初は誰でも一人だが、ソフトボール大会が行われた後は一気に友達が増えた。受験生でありながら、へんな追い込まれ感もなく、妙な言い方だが毎日が楽しかった。勉強や授業は、それは決して楽ではない(当然だ)が、信頼できる先生や友達ができたことがうれしかった。そのうえ国立大学に前期で合格できたので、この一年に満足している。

### 長野 友弥くん (金沢錦丘高校卒)

金沢大学 理工学域 電子情報学類 進学  
金沢工業大学 工学部 電気電子学科 合格

#### 「再挑戦の日々」

「受験勉強への気持がちゃんと続くのか？」これが浪人することになった当初、心配なことでした。しかし、この予備校に入学すると、毎日みっちり勉強し、また同じ大学を目指す友達と励ましあうことで、受験勉強に対する熱意、もっといえば第一志望の大学へ合格したいという気持ちが途切れることはありませんでした。出身高校は違っても、同じ大学へ行きたいという仲間を見つければ、「落ちたくない。みんなで一緒に合格しようぜ」という雰囲気になります。育英予備校の先生はどの先生も、熱心でわかりやすく、質の高い授業をしてくれます。私が印象に残っているのは、英語の問題を解くにあたってのプロセスの大事さです。理系なので、英語や国語の記述はあいまいにしてみました。数学と同様、途中計算？が大事だということを見ました。この一年は、最初に思ったよりあっという間に終わってしまいました。しかしとても充実した経験となりました。

### 井上 菜摘さん (金沢錦丘高校卒)

愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科 進学  
北陸大学 薬学部 薬学科 合格

#### 「2回目だからこそ！」

私の志望校は、センターを重視するタイプだったため、とにかくセンターの対策を重視していました。マーク模試では、結果が出るたびに一喜一憂して、成績が安定しない時期もありました。しかし私は、現役時と同じ間違いを繰り返すまいと思っていました。一喜一憂で終わらせず、必ず模試の問題を解きなおしました。解説を読んで終わりだった現役時、なんでそこで終わるんだと、過去の自分につっこみたくなりました。二次試験は小論文と面接。また私は少し甘くみていました。しかし実際に小論文を書いたり面接の練習をしてみたりすると、自分の予想よりはるかに難しく感じました。しかしここでも焦ることなく、冷静に練習を繰り返しました。今思うと、学力もついたら冷静に対応できる力が身についたことによって合格できたのだと思います。

### 山中 真美さん (金沢錦丘高校卒)

成城大学 文芸学部 マスコミュニティー学科 進学  
日本大学 法学部 新聞学科 合格  
青山学院女子短期大学 国文学部 国文学科 合格

#### 「育英予備校金沢で」

私は英語がとても苦手でした。浪人をすることを決めた時も英語が伸びるのか不安でした。育英予備校金沢で英語の基礎クラスに入って授業を受けてみて、高校のときの英語の基礎ができていなかったことがわかりました。英語に自信のない方は思いきって基礎クラスに入ることをおすすめします。文法がわかると問題を解いていても落ち着きを取り戻すことができます。授業だけでなく、自習室で勉強してから帰る、という生活を定着させることでも不安を取り除くことができました。浪人生にとって本当に利用しやすい予備校だと思います。

#### 福家 利隆くん（金沢西高校卒）

高知大学 教育学部 学校教育教員養成課程 進学

龍谷大学 法学部 法律学科 合格

龍谷大学 社会学部 社会学科 合格

京都産業大学 経済学部 社会学科 合格

「合格しました！」

一年前受験に失敗し浪人が決まった時は、月並みな言い方ですが途方にくれました。最初のうちは、予備校に入学したころ思い描いた浪人生活とは全然違いました。順調に成績が伸びない時もあり、逃げ出したくなることもありました。厳しくもやさしくも接してくれた先生には何度も助けてもらいました。ありがとうございました。結果が求められるプレッシャーの中で、国立大学に合格できたことは、いい経験になりました。再チャレンジを通じて家族と友達の大切さもより実感できた一年になったと思います。

#### 吉田 博紀くん（高岡西高校卒）

富山大学 理学部 生物圏環境科学科 進学

金沢工業大学 バイオ・化学部 応用バイオ学科 合格

「授業には正解する方法がちりばめられている」

失意の中、予備校に行くことになった。最初の頃は、授業にも真剣になれず、模試の成績も現役時代と同じだった。しかし、夏期講習を過ぎた頃から、問題に対してそれまでは「なんとなく」だったのが、理由づけをして答えを選べるようになり成績も徐々に上がり始め、自信がついてきて、授業にも真剣に取り組めるようになった。模試を重ねるごとに、点数も安定してきて、第一志望に合格することができた。いま思えば、正解する方法が授業には豊富にちりばめられていた。それを、問題演習を重ねるごとに実感し授業に真剣にとりくめるようになったから点数が伸びたのだと思う。最後に、熱心に授業をしていただいた先生方には感謝したいと思う。

#### 中田 理香子さん（小松高校卒）

神戸市看護大学 看護学部 看護学科 進学

甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科 合格

関西福祉大学 看護学部 看護学科 合格

関西医療大学 看護学部 看護学科 合格

「合格！！」

この一年間、思うように成績が伸びずつらい時期もありましたが、合格できた今はそんな時期があったことも忘れてしまうほどうれしい気持ちでいっぱいです。この育英予備校で、合格に向けて一緒に頑張ることのできる仲間や、生徒一人一人のことを気にかけて一生懸命指導してくれる先生に出会えたおかげで私は一年間頑張り続けることができ、合格することができました。浪人生活を通して身につけた精神的強さをこれからいかに、また春から夢に向かって頑張っていきたいと思います。

#### 竹田 智明くん（小松高校卒）

同志社大学 理工学部 情報システムデザイン学科 進学  
同志社大学 文化情報学部 文化情報学科 合格  
立命館大学 工学部 電子情報デザイン学科 合格

**「目論見どおり合格しました」**

自分は現役時代に全く勉強をしておらず、引くほど成績が悪かったです。だから、一番面倒見が良さそうだと感じたこの育英予備校を選びました。そして一年をこの予備校で過ごしてみても言えることは、その目論見は見事に的中したということです。そこは保証できます。自分は今年は同志社大学を第一志望にしたので、この結果にとっても満足しています。育英予備校が最後まで手厚く援護してくれたおかげで合格できました。本当に感謝です。

**廣部 航大くん (小松明峰高校卒)**

埼玉大学 工学部 環境共生学科 進学

**「小論文対策も！！」**

心のどこかで大学に受かるような気がしていた現役時代。私立大学も受験せず、そんな甘い気持ちで国公立大学に挑んだ僕は、見事に玉砕し、晴れて浪人生デビューすることとなった。それにも関わらず、僕には危機感がなかった。気持ちがゆるんでいたせいかな時は矢のように過ぎ去り、センターの結果は第一志望にはかなり厳しかった。それでもあきらめたくなかったため、小論文のみの個別試験に賭けた。逆転の難しい小論文で点数差を巻き返すため、職員室へ何度も足を運び添削してもらった。予備校と言えば学科試験の対策しかしてもらえないのかと思っていたら、小論文も十分な指導をしてもらえた。おかげで合格できた。

**亀田 紗希さん (小松明峰高校卒)**

高崎経済大学 地域政策学部 進学

京都産業大学 経済学部 経済学科 合格

**「育英に来て本当によかった」**

春からこの予備校の一員になって以来、なんとも濃い一年を過ごさせて頂きました。浪人生活では勉強面でも精神面でも多くのことを吸収できました。現役時代に苦しみながらやってきた日々があるからこそ、浪人生活を充実したものにするのだと思います。そして育英には志を共にする仲間がいます。勉強に厳しく人に優しい先生もいます。だから一人じゃないんです。受験勉強は、もちろん自分を自分でどこまで高められるかということでもあります。ここは苦しい時でも、また前を向ける場です。本当に感謝の日々でした。

**古川 紘之くん (七尾高校卒)**

石川県立大学 生物資源学部 食品科学科 進学

成蹊大学 理工学部 エレクトロメカニクス学科 合格

龍谷大学 理工学部 機械システム学科 合格

**「友達存在」**

この浪人生活で改めて感じたのが、友達存在の重要性でした。自分も入学当初は友達がおらず、さびしい思いをしていましたが、五月のソフトボール大会を機に友達ができたため、大いに救われた気分でした。もし独りが嫌な人は、気が置けない友達がいるならばその人を大切にしてください。たとえ切磋琢磨できなくても、友達がいるか否かは多くの人たちにとって大きな違いになるはず。個人個人の勉強の助言はできないにせよ、励まし合ったりするだけでも(馬鹿騒ぎは程々に)互いの心の助けになるはず。

**木津 大哉くん (羽咋高校卒)**

富山大学 人間発達科学部 人間環境システム学科 進学  
龍谷大学 理工学部 環境ソリューション学科 合格  
名城大学 理工学部 環境創造学科 合格

「もっとやれたはず」

去年浪人を始めてから早くも一年が過ぎてしまいました。入学当初は一年もあるからなんとかかなるだろうと軽い気持でやっていました。しかし、周りの人が必死にやっている姿を見て僕もそれなりにやり始めました。授業はすべて出席し、空き時間には自習をしっかりとしました。結局、第一志望に合格するためにはもっと強い意志が必要だったと思います。これから浪人しようとする人はしっかりと目標を持って勉強した方がいいと思います。

### 角出 祥平くん（大聖寺高校卒）

大谷大学 文学部 文学科 進学  
金沢学院大学 文学部 日本文学科 合格

「浪人生活」

僕は現役の時、行きたい大学が決まっておらず、そのため受験勉強もあまり進んでいませんでした。予備校に入学してからも、勉強に対して前向きではなかったのですが、育英予備校では勉強を基礎から教えてくれ、とても役に立ちました。そのうちに志望学科が決まりました。しかし受験勉強は想像以上につらく、やる気が出ないこともありましたが、予備校の課題などをこなす中で力がついてきました。この一年は無駄ではありませんでした。

### 新谷 正義くん（金沢高校卒）

金沢大学 理工学域 機械工学類 進学  
立命館大学 理工学部 電気電子工学科 合格  
近畿大学 理工学部 電気電子工学科 合格  
金沢工業大学 工学部 電気電子工学科 合格

「ライバル」

浪人することが決まり、この予備校に入学した当初は不安でいっぱいでしたが、成績が上がるにつれて自信が付き、そうした不安はだんだんと消えて行きました。僕が意識した点は予備校を休まない、予備校から早く帰らないといったところに尽きると思います。僕の場合、家にいると勉強がはかどらなかったのも、「この人より長く机に向かっているよう」と、隣の人を勝手にライバルにしたりして、いつも夜まで勉強していました。最後に、育英の講師は信頼できます。きっと合格への道が見えるはずです。

### 阿部羅 美咲さん（金沢高校卒）

信州大学 理学部 数理・自然情報科学科 進学  
京都橋大学 人間発達学部 児童教育学科 合格

「センターで自己ベスト出しました」

センター300点台から始まった私の浪人生活は、初めは目の前が真っ暗でした。予備校での勉強を中心にやり、でも模試が悪かった時はいつも、次こそは！という気持を持ち直し、本番は絶対とれる！と自分に言い聞かせました。その通りに、本番では自己ベストをとることができました。ですがこの一年を振り返ってみると、やはり自分への甘さが抜けきれなかったと思います。これから受験するという人にはぜひ、やる前から負けず、できるだけ悔いの残らない受験生生活を過ごしてもらいたいです。

## 大谷 真吾くん（金沢高校卒）

立命館大学 産業社会学部 メディア社会学科 進学

明治学院大学 社会学部 社会学科 合格

名城大学 経済学部 産業社会学科 合格

名城大学 人間学部 社会学科 合格

### 「一年で学んだこと」

自分は高校の時、大学ならどの大学でも入れれば良いと思っていました。しかし浪人することが決まり気持は変わりました。どうせ浪人するなら一年間真剣に勉強しようと思いました。そこで大切だと思ったのはやはり基礎と、目標を持つことでした。どんな物事でも基礎なしに次へは進めないし、目標なしに向上はできません。この一年間で改めて、この二つのことが大切だと思いました。だから一年間で学んだ勉強以外のものも、これからの大学生生活に生かしていきたいと思います。

## 南 洋充くん（金沢高校卒）

龍谷大学 経営学部 経営学科 進学

龍谷大学 経済学部 経済学科 合格

神奈川大学 経営学部 国際経営学科 合格

### 「価値ある一年」

最初この育英予備校に入学したころは、焦りでいっぱいでした。高校の時まじめに勉強していなかった僕は他の人よりかなり劣っていて、先生に怒られ挫けそうになりました。そんな時に、来年の春の自分を想像して、それを現実にするために諦めず頑張ろうと思いました。その結果、自分が目標としていた大学に合格することができました。諦めないことの大切さを身をもって知り、人生でとても意味ある一年でした。

# 育英予備校金沢 2010 合格体験記（昨年度生）

☆ 現役生・講習生を一切含んでいません。高卒本科生のみです。

北藤 稔道くん（金大附属高校卒）

東京大学 文科三類 進学  
慶應義塾大学 経済学部 合格

「論述添削もマイペースで」

僕は4月に東京の大手予備校に入学したのですが、体調を崩してしまい金沢に戻りました。親しい友人たちが育英予備校で楽しく元気に勉強していたので入学を決めました。育英では英作文や世界史の論述の添削も自分のペースでできたのでとても助かりました。僕はセンターが苦手なのでセンター直前期はとてもつらいのですが友人たちと点数を競い合ったりして乗り切り、第1志望の文科三類に合格できました。最後まで僕の面倒をみてくれた鹿熊校長、佐藤先生、中村先生にはとても感謝しています。

中村俊貴くん（金大附属高校卒）

金沢大学 医学類 進学

「質の高い授業」

昨年、医学類の不合格が決まったとき、育英で浪人することに決めました。入学前の僕の成績は合格ラインまではほど遠くとても大変でしたが、高校時代に校内行事と一緒に盛り上げた同じ志望の親友と励ましあいがんばってきました。育英の先生や質の高い授業のおかげでついに合格することができました。一年間本当にありがとうございました。附属卒の同期の5人もみんな合格してうれしいです。

下川寛右くん（金大附属高校卒）

金沢大学 医学類 進学  
防衛医科大学校 合格  
慶應義塾大学 経済学部 合格  
早稲田大学 政経学部 合格

「すばやく返却される添削」

浪人することになったとき悔しさと同時に不安でいっぱいでしたが、育英での一年間を振り返るととても充実した一年でした。授業を大切にすること、すばやく返却される添削、集中できる自習室、ともにがんばる友人の存在が僕の学力向上の源でした。育英の先生、友人、家族のみんなに支えられて、一年間やり抜くことができました。感謝を込めて、後輩の皆さんも応援したいと思います。

小林 昇平くん（金大附属高校卒）

福井大学 医学部 医学科 進学  
金沢医科大学 医学部・医学科 合格

「センター85点アップで第一志望医学科合格」

高校時代はテニス部と学校行事に勉強にと充実していましたが、私の勉強法は自己流で偏りがありました。特にセンター対策に手が回らず浪人が決まりました。予備校では講義や添削を中心に組みながら、同じ志望をもつ仲間たちと学習成果を確かめ合うことでモチベーションを高めました。センターは85点アップして第一志望の福井大学医学科に合格できて大満足です。父親のような鹿熊校長、家庭教師のように個別指導していただいた数学の中田先生、物理の中谷先生、化学の金曾先生、本当にありがとうございました。

## 山本 大貴くん（金沢泉丘高校卒）

慶應義塾大学 経済学部 経済学科 進学  
明治大学 法学部 法律学科 合格

### 「反省として」

僕の第1志望は一橋大学でしたが、第2志望の慶應義塾大学に合格することができてとても良かったです。この1年を振り返ってみると、体調を崩しやすい僕がなんとか育英予備校に通い続けることができましたが、わからなかったことをそのままにしておかないこと、そのために講義後も積極的に質問したり勉強方法について先生と話し合うことが大切だと思います。受験に絶対ということはありませんが、志望大学に合格する人はそんな姿勢があると思います。

## 大谷 和宏くん（高卒認定）

慶應義塾大学 法学部 法律学科 進学  
中央大学 法学部 法律学科 合格

### 「不思議と伸びた成績！東京大文一と慶應大法学部に絞って挑戦！」

僕が新しいスタートするには少人数クラスで授業をしている育英予備校がぴったりだと思いました。授業が始まると最初はついていくのがやっとだった僕も、だんだん慣れていくにつれて不思議と成績も伸びていった。9月マーク模試では県内の文系7科目で一番にまでなっていました。その後、不調に陥ったときも先生が親身に相談にのってくれたので最後まで継続して勉強することができ、万全の状態の入試に臨むことができました。国立大学は東京大学・文科一類だけ受験することに決めていました。文科一類に挑戦してダメだったら慶應義塾大学・法学部に進学すると決めていたので、僕の浪人時代にまったく悔いはありません。

## 西田 智大くん（金沢二水高校卒）

北海道大学 医学部 保健学科作業療法 進学

### 「添削は早くてこまかいアドバイスでいっぱい」

育英予備校では4月から講義と連動してノート添削が始まりました。育英の個別添削はすぐに返却される上に一人ひとりへのアドバイスが細かくてすごくためになりました。現役時代には知らなかった解法や知識のおかげで、センター試験も安心して受験することができました。センター試験が終わってすぐに二次対策の講義とこまめな添削が試験直前まであり、僕の場合は試験前日も電話でいろいろアドバイスをしてもらいました。合格できたことに心から感謝しています。

## 北原 岳明くん（金沢錦丘高校卒）

北海道大学 農学部 進学  
同志社大学 理工学部 環境システム学科 合格  
立命館大学 生命科学部 生物工学科 合格  
防衛大学校 理工学専攻 合格

### 「北海道大農学部にも再挑戦！」

この1年で私はいろいろなことを発見しました。第1に、予備校では新しく学ぶことがとても多かったのので、それを忘れずに維持するための復習の精度が鍵となります。第2に、生活のリズムが大切だということです。朝一番に予備校にきて、授業、質問や添削、友達とのリラックスした時間、自習室での復習、夜9時にあいさつして帰るまで自分なりのリズムをもっていました。第一志望の北海道大農学部には、一年前の自分より何倍も強くなって再挑戦することができました。本当にありがとうございました。

### 山本 直樹くん（金沢桜丘高校卒）

早稲田大学 人間科学部 健康福祉科学科 進学  
青山学院大学 社会情報学部 社会情報学科 合格  
青山学院大学 経済学部 現代経済デザイン学科 合格

#### 「一難来たりてサクラ咲く」

僕は浪人してからしばらくエンジンがかかりませんでした。現役時代は自分なりに一生懸命に勉強したつもりだったのに結果を出せなくて、努力することを信じる気持ちになれなかったのかもしれない。でも夏を過ぎるくらいから入試のスケジュールを意識せざるをえない時期になると、だんだん不安になってきてきましたが、やることはやって何とかしのいでいました。でも、今回はまさかの早稲田大学合格という結果になりました。育英の良いところ疑問をすぐに解決してくれるところです。いろんな疑問を質問して勉強していきたい人は育英がよいと思います。

### 中村 恭吾くん（金沢西高校卒）

東京学芸大学 教育学部 生涯スポーツ 進学  
龍谷大学 経済学部 合格  
中京大学 体育学部 体育科学科 合格

#### 「投げ出さなかった自分」

いったいどれだけ勉強しただろう。「一生で浪人時代ほど勉強することはない」と言われるが、全くその通りである。何度も投げ出しそうになった。でも自分に負けたくなかったからギリギリのところで踏ん張ってみた。そうしてつかんだ自分の夢！1年間ありがとうございました。

### 坂上 菜摘さん（金沢二水高校卒）

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 進学  
立命館大学 産業社会学部 現代社会子ども社会 合格  
関西学院大学 教育学部 初等教育 合格

#### 「変身！センター英語だけで80点以上も大ジャンプ」

去年は出願すらできなかった大学に合格できました。育英では切磋琢磨できる友達が新しくでき、自分の成績が伸び悩んでくじけそうなき時も励ましてくれたおかげで大きく伸びることができました。センター英語だけで80点以上も伸びてセンター自己採点の合計点も浪人して大ジャンプすることができました（900点中の167点アップ）。私には育英のアットホームな感じがぴったりでした。育英を選んで良かったです。ありがとうございました。

### 中谷 寛史くん（羽咋高校卒）

金沢大学 人間社会学域 地域創造学類 進学  
龍谷大学 法学部 政治学科 合格

#### 「あきらめず続ける原動力」

第1志望の大学に合格してほっとしています。これから浪人しようとしている皆さんに僕から伝えたいことは、どんなにつらいときも、先生や友達、そして家族に支えられていることを忘れないことです。自分の浪人生活を振り返るとその気持ちがあきらめず努力し続ける原動力の一つでした。自分の夢をあきらめず頑張ってください。つたない文章ですが、心から応援しています。

### 亀山 千里さん（金沢二水高校卒）

金沢大学 人間社会学域 国際学類 進学  
立命館大学 文学部 人文／英米文学 合格

#### 「センター152点UP！英語で革命を体験したい人は育英へ」

自分では英語は勝負科目だと思っていましたが模試になるとなかなか点数が思うようにとれませんでした。予備校に入学してみると基礎中の基礎がきちんとできていないことが分かりました。英文法と英文解釈の講義では文構造の解説を徹底的に追求していくのですが、英文解釈の添削ノートではそれができているかチェックされます。しかも、その添削が提出したその日のうちに返却されることが多く、少なくとも翌日には返ってきます。「和訳は英文解釈の証明問題だ」といつも授業で言われていました。先生の自作教材が冊子になるらしいのでもらいに行きます！

### 佐藤 茜さん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 進学

#### 「NEVER GIVE UP! ☆」

2年間の受験生活（高校3年生＋浪人）はやっぱり大変でした。成績が伸び悩んだとき、勉強をやめたい気持ちになることもありましたが、友達や先生方に励まされて第一志望大学に合格することができました。この1年間、あきらめずにがんばってよかったと本当に思います。いつも私を支えてくれたみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これから育英に入学する人たちも最後まであきらめずにがんばってほしいと思います。

### 朝本 陵太くん（小松明峰高校卒）

金沢大学 人間社会学域 地域創造学類 進学  
立命館大学 政策科学部 政策学科 合格  
龍谷大学 社会学部 社会学科 合格

#### 「この1年の重みは半端じゃない！一日一日を思い出せるほど充実した日々」

浪人生活はとても短かったともう。最初は浪人すればどんな大学にでも入れると楽観的に考えていたが、気付けば月日が過ぎて現実の厳しさを知った。先を見ると長い時間があるように思えるが、振り返るとあっという間の1年間だった。でも、この1年間の重みは半端じゃない。一日一日を思い出せるほど充実した内容の濃い日々だった。たぶん自分だけじゃない。誰にとってもこの1年はすばらしい浪人時代だったと思う。

### 北野 裕子さん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 進学

#### 「育英の先生はみんな個性的」

浪人した一年間はこれまでの人生で一番短く感じました。一年間も浪人すればあっという間に成績は伸びるんじゃないかと思うかもしれませんが、基礎からやり直すとは実は知らないでいたことがたくさんあり、夏を境に演習問題も繰り返して何とか時間内で解けるようになってきたなと思ったらもう11月です。基礎をしっかりとすればするほど本番直前まで、1ヶ月前、1週間前でもどんどん伸びると思います。だから、これから育英に入学しようと思う人は落ち込むことなんかありません。先生方も親身になってくれてとても心強いです。

### 室谷 卓実くん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 理工学域 環境デザイン学類 進学  
立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 合格  
関西大学 環境都市工学部 建築学科 合格  
法政大学 デザイン工学部 建築学科 合格

#### 「現役のときのE判定から特待生合格へ」

育英予備校に入学した当初は、私はまだたろんでいたが、講義が進むうちに必死に勉強していた。気がつくとも苦手な英文を読むのを苦とは思わなくなった。勉強嫌いの自分はどこへ行ったのだろうか。昨年E判定だった立命館大は特待生で合格した。金沢大も合格したとき、この一年間は無駄ではなかった、と心の底から思った。これから浪人する皆さんに一言いいたい。「やればできるんだ」ということを忘れなければ大丈夫！質問、添削、進路相談も育英に思いっきりぶつかっていけばよい！

### 架谷 真紀さん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 人文学類 進学  
京都産業大学 文化学部 国際文化学科 合格

#### 「達成感を感じるまで」

予備校に通い始めて弱い基礎力を夏が終わるまでにしっかり固めるのが最初の課題でした。私は英語が苦手で、高校の3年間分を半年で何巡もしたけれども、伸び悩む時期もありましたが、休みの日も正月も自習ブースに通ってくるみんなを見て自分もがんばろうという気持ちになれました。センター試験が直前まで迫った大晦日や正月も本番が迫り来る緊張を乗り切ることができました。センター後も英作文の添削では最後まで自分の苦手意識がありましたが、なんとか合格できて本当に浪人して良かったと実感できました。

### 一森 真悠さん（星稜高校卒）

金沢大学 人間社会学域 地域創造学類 進学  
京都女子大学 現代社会学部 現代社会学科 合格  
同志社女子大学 現代社会 社会システム学科 合格

#### 「大切なのは気持ち」

気合い充分で始めた浪人生活。自分では毎日しっかりやっているつもりでしたが、やっぱり伸び悩む時期もありました。でも、金沢大学合格という夢はどうしても捨てるわけにはいかずとことん努力すると決めていました。だからどんなに困難なときがあっても「必ず合格しよう」と自分に言い聞かせて乗り越えてきました。受験において大切なのはやはり合格しようと念じる強い気持ちだと思います。皆さんも自分を信じて最後まで諦めずに、必ず合格を勝ちとってください。

### 飯田 郡也くん（金沢錦丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 人文学類 進学  
同志社大学 文学部 文化史学科 合格  
立命館大学 文学部 地理学科 合格

#### 「育英予備校の1年間」

自分は浪人をしてたくさんの方の事を学びました。予備校で再出発することで現役時代はあまり目を向けなかった弱点科目にも正面から取り組むことができました。育英予備校の先生方はもちろん予備校の友人達も自分が成長するための不可欠な力となっていきました。予備校での1年間は最も充実した1年間と言っても過言ではないほど成長できたことに、とても感謝しています。

### 河合 純平くん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 進学  
立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 合格  
京都産業大学 経済学部 経済学科 合格

#### 「継続は力」

自分は勉強する習慣があまりありませんでした。しかし、予備校に通い続ける内に勉強することが当たり前になっていったと思います。勉強嫌いの私にとって勉強するための予備校に通うことは最初は苦痛でしたが、自分の変化に気づいたとき続けることが大事だと実感できました。育英予備校では楽しいとき、つらいときいろいろありましたが、自分で言うのもなんですが少し成長した気がします。僕の周りにいた人々に感謝です。後輩の皆さんもがんばってください。それと、勉強は後回しにしないこと。

### 小川 拓真くん（金沢桜丘高校卒）

金沢大学 医薬保健学域 作業療法学科 進学  
立命館大学 情報理工学部 合格  
京都産業大学 理学部 数理科学科 合格

#### 「感謝です」

3月に浪人が決まったとき、自分では絶対に1年間も集中できないし、途中で妥協してしまうんだろうなと思っていた。しかし、入学後、高校時代からの友人や育英でできた友人とモチベーションを高めあうことができました。育英の先生方や両親のサポートがあったからこそがんばってこれたと思う。思うように成績が伸びず何度も挫折しそうになったが、第一志望を簡単にあきらめたくないという気持ちが合格につながったと思う。浪人生活を経て、自分自身、精神的にも成長できたような気がする。本当にありがとうございます。

### 吉本 博美さん（星稜高校卒）

信州大学 人文 合格  
立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 合格

#### 「精神的に強くなった泣き虫の私、ほんとうにありがとうございました」

浪人するときはすごく不安でした。自分に自信が持てず、本当にうまくやっけていけるのかなあと思っていました。でも、親や先生たちや友達の支えがあったからこそ志望大学に合格することができたんだと思います。模試で成績が良くなかったりするとすぐに泣いてしまう泣き虫でしたが、先生たちに支えられながらなんとか合格できたのだと思います。この1年で精神的にずいぶん強くなったと思います。今振り返ってみるとこの1年間はとてもいい思い出です。先生、本当にありがとうございます。

### 岡田 明恵さん（金沢二水高校卒）

新潟大学 医学部 保健学科検査技術 進学  
京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 合格

#### 「育英の先生はフレンドリー」

現役時代の3月に、後期試験不合格で浪人が決まりました。センター結果があまりに悪かったので、浪人するのは当たり前だと感じていました。私は文系教科が特に苦手だったので、育英予備校では前期は得意な理系教科よりも苦手な英語と国語を中心に勉強しました。その成果をセンター試験でちゃんと出すことができました。今思うと、昨年の学力の状態で大学に合格するよりも、一年間しっかり勉強して自信をもって大学に行く方が絶対がいいと思います!!育英の先生方は本当にフレンドリーなのでとても楽しかったです。一年間ありがとうございました。

### 麻生 駿悟くん（金大附属高校卒）

富山大学 薬学部 創薬科学科 進学  
立命館大学 生命科学部 応用化学科 合格

#### 「スモールステップ・スモール・チェンジ」

浪人の1年間で何が変わったのかを振り返ってみると、自分はそんなに大きな変化がないように感じています。しかし、僕のセンター試験の得点は大きく伸びました。予備校ではよく先生から言い聞かされたようにスモール・ステップ、スモール・チェンジで、日常の小さいことをいい習慣に変えることができたなら長く続く大きな変化になるのだと思います。だから、きっと自分でも気づかないほど小さな無数の変化が大切な変化ではないのかと思います。

### 綿谷 日香莉（金沢二水高校卒）

富山大学 人間発達学部 発達教育学科 進学  
同志社女子大学 学芸学部 国際教養学科 合格

#### 「周りの支えがあつての合格☆」

浪人すると楽しいことも多いけれどやっぱりつらいこともあるし、自分ひとりで成し遂げることは不可能です。そんなときに一緒に励まし合ってがんばることのできる友達や、見守ってくれる先生がいることはとても心強いです。浪人生は9月から追い込みが始まってセンター本番までが一番きついです。でも周りに励まされて何とか乗り切ることができました。感謝でいっぱいです。つらくても逃げ出さずに最後までやり続けることが大切です。皆さんもあきらめずにがんばってください。

### 南出 涼輔くん（小松高校卒）

群馬大学 工学部 情報工学 進学  
芝浦工業大学 システム理工学部 情報工学科 合格

#### 「長くて短い一年でした」

浪人が決まったとき親に申し訳ない気持ちでいっぱいになった。今振り返ると一年で私は大きく変わった。予備校に通学することはもちろん費用はかかるが、国立大学に合格することができたので自分自身の浪人時代は及第点だと思う。自分の志望学科に進学することができたのでとても大学をとっても楽しみにしている。浪人時代はあっという間だった。皆さんも自分の志望校に合格できるようにがんばってください。

### 小島 直樹くん（金沢桜丘高校卒）

大阪教育大学 教育学部 教育科学科 進学  
立命館大学 産業社会 子ども社会学科 合格  
関西大学 文学部 総合人文学科 合格  
関西学院大学 教育学部 初等教育 合格

#### 「たればんだ」

平成21年4月15日、僕は育英予備校の浪人生としてスタートした。周りは知らない人も多く足がすくんだ。でも、友達は優しく「いっしょにがんばろう」と声をかえてくれた。涙が流れた。それから、時が流れて僕は第一志望校に合格できた。育英予備校で学んだことは決して忘れないだろう。後輩たちもぜひがんばってくれ。

## 田部井 諒介くん（金沢西高校卒）

富山大学 人間発達科学部 発達教育学科 進学

### 「浪人生活」

浪人生は合格するために勉強することが中心の生活ですが、息抜きも必要ですからどれだけケジメとメリハリをつけて行動できるかが大切です。きついときもありますが合格したときの喜びを想像して目標を見失わないようにします。前半は基礎力を完成すること、力がついてきたらセンターも二次対策の過去問研究も本当にしっかりできるようになります。問題集よりも本当の過去問で傾向をつかんだら、勉強の方向も見えてきます。小論文は書き続けてください。第一志望校に合格するという強い気持ちを持ち続けて勉強に励んでください。後輩の皆さんを応援しています。

## 竹森 直人くん（七尾高校卒）

富山大学 工学部 電気電子システム学科 進学

法政大学 理工学部 機械工学科 合格

### 「浪人」

浪人することが決まったときは浪人時代は短いということにあまり実感はなかったが、いざ予備校生活が始まってみると本当に短いと思った。浪人時代は1年間ではなくて、4月中旬から1月中旬のセンター試験まで9ヶ月間、国立2次試験まで含めても10ヶ月間しかない。時間が矢のように過ぎていき、高校3年の時よりも2～3倍は速く過ぎていくように感じられた。時間的な短さだけでなく、学習内容が一つ一つ濃いことも時間が速く過ぎていく理由だと思う。自分が理解し残してきたことも含めて短期間の内にやり直していくのだから、油断してはいけないと思った。だから、これから浪人する人たちには油断しないことだけを言っておきたい。浪人時代はあっという間に過ぎていくけれど、やる気さえあればとても充実しています。大丈夫です。

## 中江 泰貴くん（輪島高校卒）

立命館大学 経済学部 経済学科 進学

富山大学 経済学部 経営学科 合格

### 「大きく成長した1年間」

僕は現役時代もがんばって勉強していたつもりでしたが、予備校に入ってすぐに勉強できていないことがたくさんあることに気づきました。自分は良い友達にも恵まれて楽しく勉強を続けることができたので、育英予備校を選んで本当に良かったと思います。能登の実家を離れてひとり暮らしでしたので苦しいときもありましたが、家族や先生方の支えのおかげで無事に合格することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。浪人生活はあっという間なので、これから浪人する人には一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

## 利長 明日海さん（金沢泉丘高校卒）

富山大学 人文学部 人文学科 進学

### 「まだ、やり直しはきく」

志望校に受からなかったといっても命までとられるわけではありません。確かに落ちた直後は相当な虚脱感に見舞われ、人生の終わりのような気持ちになります。でも自分の命がある限りは再びチャレンジできます。何とかして国立大学に入りたいという一念で、小論文添削も必死になって続けました。育英の先生も最後まで付き合ってくださいました。みなさんも、もう一度立ち上がることはできます。

## 村田 一成くん（高岡南高校卒）

金沢大学 理工学域 物質化学類 進学  
同志社大学 理工学部 化学システム創成工学科 合格  
関西学院大学 理工学部 科学科 合格

### 「金沢で過ごした1年」

高3現役で金沢大学を合格するつもりでいたので、私はすでにアパートを決めて引っ越していました。ところが、浪人しなければいけないことになって、結局、育英予備校金沢にそのまま通うことになりました。それでも、とてもよい1年になりました。1人で生活しながら自分を見つめ直していると、未熟だったこともはっきりと見えるようになったからです。自分は何をしたらよいのかよく見えていました。もちろん、友達や家族や育英の先生方の支えがあったからこそ1年間がんばることができました。ここで感謝の言葉を伝えたいです。

## 石川 潤樹くん（小松明峰高校卒）

神戸市立外国語大学 外国語学部2 英米学科

### 「学ぶ喜び」

私が浪人生活で学び、皆さんに伝えたいことは一つです。学ぶことは句ではないということです。しかし、誰かと共に学ばなければ意味は何ひとつない。競い合うことで継続します。また、合格したいのであれば先生方と信頼関係を気づいてください。私はこの信頼関係があったからこそ合格できたと思います。きっちり基礎をやり直せば、必ず「学ぶ喜び」を実感できる時がきます。そして、浪人するチャンスをもつことができたことに本当に感謝することでしょう。

## 浅川 友希さん（金沢桜丘高校卒）

富山大学 人間発達科学部 人間環境システム学科 進学  
京都産業大学 経済学部 合格

### 「私の浪人時代」

浪人生としてスタートしてから最初は時間が長く感じられました。それまではふらふらして遊んでいたの、きちんと机に向かうことがつらかったのだと思います。その代わり、模試の成績が少しずつ上がってくるとやる気が出てきました。そんな単純なことが励みになってこれまでやってこれたと思います。その単純な小さなことの積み重ねがとうとう合格という大きなものにつながりました。この合格をスタートラインにしてこれからがんばりたいと思います。人生を駆けていく体力？が浪人生活でできたように思います。ありがとうございました。

## 長峯 史佳さん（野々市明倫高校卒）

福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 進学  
金沢星稜大学 経済学部 経営学科 合格

### 「予想外続きの一年」

私の浪人生活は、最初に思っていたよりも大変で地道な毎日でした。分かっていると思っていた基礎も全く穴だらけでしたし、この短期間で得点力が身につくか不安もありました。毎回の模試は真剣勝負でした。途中で受験教科を減らして、勝負科目をつくるために集中的に時間をかけたおかげでなんとか公立大学に合格できたともいます。なによりも同じ目標をもった友達や、熱心に分かり易く教えてくれた先生方がいあたかこそがんばることができたと思います。

## 中嶋 広（金沢二水高校卒）

同志社大学 経済学部 経済学科 進学  
立命館大学 情報理工学部 情報理工学科 合格  
関西学院大学 理工学部 数理科学学科 合格

### 「現役と浪人」

センター試験会場では現役生は学校別で会場があり団体で受験する雰囲気がある。しかし、浪人生は個人別に試験会場が決まるので試験会場ではアウェーの感覚がある。もちろん予備校の友人たちはいるが、金大の角間キャンパスで80人の予備校の友達がいっても会場となる棟が異なるので、同じ棟の試験場にいる顔見知りの仲間は数名ということになる。それでも、予備校生の絆はかなり強いものがあるので精神的には共に励まし合う気持ちでつながっていると思う。

## 宮前 亜里沙さん（星稜高校卒）

鳥取大学 地域学部 地域文化学科 進学  
桃山学院大学 法学部 法律学科 合格

### 「一年を振り返って」

私は最初浪人することに対して不安でした。現役時代は何とかなるだろうと思っていましたが、浪人することになった現実はそのような逃げ道はないことを教えてくれていました。国立大学に合格することを目標にしていましたし、周りにそんな人たちも多くて勉強しているうちにそんな不安は消えていました。夏休みを過ぎてからセンター試験までは時の経つのも急に速くなって、余計なことを考えている暇なんてありませんでした。講義を休まないようにして勉強を続けました。国立大学の合格通知をもらったときの感激は、浪人してがんばってきたから格別で決して忘れることはないと思います。

## 坊 さくらさん（金沢高校卒）

京都外国語大学 外国語学部 英米学科  
関西外国語大学 外国語学部 国際コミュニケーション学科

### 「志望する外国語大に進学するのが楽しみ」

育英予備校に入学してすぐに基礎力が薄いことを痛感したので、基礎力をしっかりすることにひたすら集中しました。育英予備校の前期の講義は基礎から徹底して見直していくのでよかったです。私は前年度受験して不合格になった大学よりもワンランクレベルアップしてセンター試験前に2つの大学を受験していち早く合格してしまいました。それでちょっと気持ちがゆるんでしまったかもしれませんが、それでも志望していた大学に合格できたので、大学に入学することをとても楽しみにしています。皆さんも、何があっても自分の志望を実現するためにがんばってください。

## 山崎 友也くん（金沢高校卒）

立命館大学 経済学部 経済学科 進学  
関西大学 法学部 法学政治 合格  
龍谷大学 法学部 法律学科 合格

### 「模試は得点力を基準にみる」

予備校に入学して最初の6月マーク模試で、まったく経験したことのない高い偏差値をとってしまったことで油断してしまった。浪人生ならば1年間のアドバンテージがあるので現役生も受験している全国模試では偏差値が高いのは当たり前であり、予備校の説明会でも浪人生の成績の見方には気をつけるように言われていたのですが... 自分としては精一杯していたつもりでも、油断があったと思う。浪人生は、偏差値や合格可能性判定ではなく得点力を基準に模試成績をみて勉強の方針を確認していくとよい。

清水 貴子さん（野々市明倫高校卒）

創価大学 文学部 人間学科 進学

「諦めから喜びへ」

予備校に入学した当初は、成績が簡単に伸びて志望校に合格☆と思っていたけれど、実際はそう簡単にはいかなくてなかなかD判定から脱出できませんでした。先生方の懸命な授業を受けていても簡単にはいかない私の成績でしたが、創価大学志望はあきらめなくなかったので受験する学部を1つ増やして挑戦しました。その学部が合格して、行きたかった大学に合格して進学できると分かったときは本当に嬉しかった。育英予備校ではほんとうにいろんな経験をすることができました。